

九州で初めて確認されたオトコエシニセハリオタマバエ (ハエ目：タマバエ科)

岩村 政浩¹⁾・徳田 誠²⁾

First record of *Asteralobia patriniae* (Shinji) (Diptera : Cecidomyiidae) from Kyushu, Japan

オトコエシニセハリオタマバエ *Asteralobia patriniae* (Shinji) は、タマバエ科ハリオタマバエ族ニセハリオタマバエ亜族 *Schizomyiina* に属し、オミナエシ科のオトコエシ *Patrinia villosa* (Thunb.) Juss. の実に準球形の虫えい（オトコエシミフクレフシ）を形成する（Yukawa 1983 ; 湯川・榊田 1996）。

本種による虫えいは、北海道（Yukawa & Sunose 1979）、本州（湯川・巢瀬 1988 など）、四国（矢野 1964）から報告されているが、未発表の採集記録も含め、九州での確認事例はなかった（湯川・榊田 1996 ; 湯川淳一博士、私信）。

著者の一人、岩村は、2015 年 10 月 4 日に佐賀県厳木町天川において本種による虫えいを確認した。また、12 日には岩村・徳田が同地点および厳木町天川の他の 2 カ所において本種によ

る虫えいを確認した（図 1）。

確認された虫えいの一部を採取して持ち帰り解剖した所、内部に 11~35 匹のタマバエの終齢幼虫が確認された。これらのタマバエ標本は、佐賀大学農学部システム生態学研究室に保管されている。

本記録は、オトコエシニセハリオタマバエの九州からの初記録となるので、ここに報告する。

本報告に際し、貴重な情報とご助言を賜った湯川淳一博士に厚くお礼申し上げる。

引用文献

- 矢野俊郎. 1964. 松山市付近の虫えい. 愛媛高校理科(愛媛県高校教育研究会理科教育部会) 1 : 66-80.
- Yukawa, J. 1983. Redescription of three species of the genus *Asteralobia* (Diptera : Cecidomyiidae). *Mem. Fac. Agr. Kagoshima Univ.* 19 : 97-108.
- 湯川淳一・榊田長. 1996. 日本原色虫えい図鑑. 826pp. 全国農村教育協会, 東京.
- Yukawa, J. & T. Sunose. 1979. Midge galls of Hokkaido. *Mem. Fac. Agr. Kagoshima Univ.* 15 : 87-97.
- 湯川淳一・巢瀬司. 1988. 新潟県のタマバエゴール(双翅目:タマバエ科). 越佐昆虫同好会々報 66 : 45-58.



図 1. オトコエシミフクレフシ (佐賀県厳木町天川)

1) Seikoh Iwamura 〒 840-0851 佐賀県佐賀市天佑 1-15-21

2) Makoto Tokuda 〒 840-8502 佐賀県佐賀市本庄町 1 佐賀大学農学部システム生態学研究室